

# 平成 23 年度（2011 年度）事業報告

（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）

平成23年度のアジア調査会は3月11日に発生した東日本大震災と福島第一原発事故という未曾有の大事故について多角的に扱い、特に国際協力の面に関してはシンポジウムで掘り下げました。

具体的には『アジア時報』平成23年4月号に〈東日本大震災 アジア各国の反応／支援続々…原発事故には深い憂慮〉と天野之弥・国際原子力機関(IAEA)事務局長の来日記者会見詳報と〈原発を知るキーワード〉を緊急掲載。5月号には飯田哲也・環境エネルギー政策研究所所長の日本記者クラブでの講演「3.11 後の原子力・エネルギー政策の方向性～2度と悲劇を繰り返さないための6戦略～」と『新版 原発のどこが危険か』の著者で技術評論家、桜井淳氏のインタビューを掲載。6月号には島崎邦彦・地震予知連絡会会長の日本記者クラブでの講演「震災後の地震発生予測」を掲載。7・8月合併号では6月2日に開いたアジア研究委員会で中嶋嶺雄・国際教養大学学長の報告「『東日本大震災』と対外発信」を掲載。9月号では6月27日に開催したアジア調査会講演会での林芳正・自民党政調会長代理の「3.11 後の日本政治」を掲載。11月号には9月20日に開催したアジア研究委員会の猪口邦子参院議員の報告「今後の国際社会と日本の政局～対外的影響力の減退をどう食い止めるか～」を掲載。12月号には10月20日に開催した国際シンポジウム「3.11 東日本大震災の国際協力と今後」と10月14日に開催したアジア調査会講演会でのフォルカー・シュタンツェル駐日ドイツ大使の「欧州から見た 3.11 後の東アジア情勢」を掲載しました。

また、2012年1月14日に行われた台湾総統選挙・立法院議員選挙結果については1月27日に開いたアジア研究委員会で井尻秀憲・東京外国語大学教授と金子秀敏・毎日新聞専門編集委員が報告。これを3月号に掲載しました。

日本記者クラブにおけるアジア・太平洋や日本政治に関する記者会見を『アジア時報』に掲載し、それを日本記者クラブのホームページに「アジア調査会がまとめた記者会見詳報」として掲載する協力が順調に進みつつあり、アジア調査会のPRにもなっています。

アジア・太平洋賞は23年度から新たにスルガ銀行の特別協賛をいただき、表彰式に加え、静岡県のスルガ銀行施設で記念講演会を開催することとなり、今回は岸井成格・毎日新聞社主筆と『日中国交正常化』で特別賞を受賞した服部龍二・中央大学教授が特別講演を行いました。

また、これまで特例民法法人であったアジア調査会の一般社団法人への移行に向けての手続きをすすめて、2012年4月1日付で登記。4月20日の総会・理事会で了承を得ました。

## (1) 調査・研究

### ◇ アジア研究委員会

年度5回の定例会を開催し、研究委員による報告と討議の全容を『アジア時報』に掲載しました。具体的には東日本大震災関係2回、中国内政関係1回、中国台頭と日本を含めた周辺諸国の安全保障関係1回、台湾総統選挙結果分析1回です。なお、23年度から研究委員として新たに西原正氏を委嘱しました。

### 平成23年度（2011年度）アジア研究委員会の報告

平成23年（2011年）

- ① 中嶋 嶺雄（国際教養大学学長）  
『「東日本大震災」と対外発信』 6月2日
- ② 園田 茂人（東京大学大学院情報学環教授）  
『「不平等国家 中国」、その後』 7月15日
- ③ 猪口 邦子（参議院議員）  
「今後の国際社会と日本の政局  
— 対外的影響力の減退をどう食い止めるか — 」 9月20日
- ④ 西原 正（財平和・安全保障研究所 理事長）  
「オバマ政権の対中牽制戦略」 12月22日

平成24年（2012年）

- ⑤ 井尻 秀憲（東京外国語大学教授）  
金子 秀敏（毎日新聞専門編集委員）  
「台湾総統選挙・立法院議員選挙の分析と中国の受け止め方」 1月27日

## ◇ 講 演 会

講演会を7回（東京6回、静岡1回）開催しました。また、アジア調査会が主催するシンポジウムを東京で1回開催しました。講演会の講師は日本人6人、外国人2人です。外国人は駐日韓国大使と駐日ドイツ大使です。

国際シンポジウムは東日本大震災に関する国際協力を取り上げ、会場となった日本記者クラブ10階ホールには外国人の方々も多く参加されました。

1. 回 数 / 8回
2. 講 師 / 日本人 8人  
外国人 3人
3. 講演場所 / 東京7回、静岡1回

### 平成 23 年度（2011 年度）講演会

〔 東 京 〕

平成 23 年（2011 年）

- ① 山内 昌之（東京大学教授）  
「危機のリーダーシップ——中東激変と大震災・原発事故の教訓」  
4月25日 東京・帝国ホテル
- ② 林 芳正（元防衛大臣）  
「3.11後の日本政治」  
6月27日 東京・帝国ホテル
- ③ 申 珏秀（駐日大韓民国大使）  
「21世紀における新たな韓日関係のパラダイムを求めて」  
8月30日 東京・帝国ホテル
- ④ フォルカー・シュタンツェル（駐日ドイツ大使）  
「欧州から見た3.11後の東アジア情勢」  
10月14日 東京・帝国ホテル
- ⑤ 前原 誠司（民主党政調会長）  
「日本外交の課題と展望」  
12月21日 東京・帝国ホテル

平成 24 年（2012 年）

- ⑥ 田波 耕治（元大蔵事務次官）  
「通貨不安と日本国債」  
2月16日 東京・帝国ホテル

〔 静 岡 〕

平成 23 年（2011 年）

- ⑦ 岸井 成格（毎日新聞社主筆）  
「野田政権と混迷政治のゆくえ」  
服部 龍二（中央大学教授）  
「日中国交正常化—田中角栄、大平正芳、官僚たちの挑戦」  
11月21日 駿河銀行大学院駿河小山講堂

## 平成 23 年度（2011 年度）シンポジウム

猪口 邦子（参議院議員）

ロバート・デュジャリック（米テンプル大学日本校現代アジア研究所長）

坂東 賢治（毎日新聞東京本社編集編成局次長）

「3・11 東日本大震災の国際協力と今後」

10月20日 東京・日本プレスセンター

### (2) 出 版

月刊情報誌『アジア時報』を10回発行（7・8月号と1・2月号は合併号）しました。アジア研究委員会や講演会、シンポジウムの全容を収録しただけでなく、研究委員会や講演会で扱い切れなかった内容についてはインタビューや寄稿、日本記者クラブの記者会見などを積極的に収録し、法人・個人会員のニーズに応じています。

### (3) 事 業

#### ◇ 第 23 回 「 アジ ア ・ 太 平 洋 賞 」

アジア調査会創立25周年記念事業として、平成元年に創設され、内外の優れた著書を顕彰してきた「アジア・太平洋賞」（特別協賛・スルガ銀行、協賛・日本生命、三菱商事 協力・ANA）は、学界・出版界等の注目のもと、23回目を迎えました。応募総数は112点と、国際的にも注目される賞となってきました。

第23回の受賞著書は下記のとおりで、平成23年11月14日に東京で表彰式を行いました。

#### 《 大 賞 》 賞金 200 万円

『中国共産党』〔草思社〕

リチャード・マグレガー（53歳）

英フィナンシャル・タイムズ紙ワシントン支局長

#### 《 特 別 賞 》 賞金 30 万円

『大川周明 イスラームと天皇のはざままで』〔青土社〕

臼杵 陽（55歳） 日本女子大学教授

『日中国交正常化』〔中公新書〕

服部 龍二（43歳） 中央大学教授

#### ◇ 毎 日 講 演 セ ン タ ー

各種の講演会や研修会に講師を斡旋する「毎日講演センター」は、不透明な国内政治、経済状況を反映して、各種団体、企業、自治体等からの依頼があり、政治・経済などの権威ある講師を派遣し、情報提供に貢献しました。

### 会 計 報 告

平成23年4月1日から平成24年3月31日までの会計年度における総収入は43,048,047円、総支出は44,081,376円、差引損失金は1,033,329円となり、これを次期に繰り越しました。